

立命館大学災害復興支援室

瓦版

かわらばん

【第15号】 2013年2月20日発行

3.11 追悼企画「いのちのつどい」
各キャンパスで開催します。
ぜひ、ご参加ください

東日本大震災直後から、立命館学園ではすべての学校・校友・父母組織をあげて、被災学生・校友の支援に取り組むとともに、災害復興支援室を設置し、学生・教職員によるさまざまな自発的取り組みをサポートしてきました。

2011年3月の震災発生以降、立命館が「私たちにできること」として何をしてきたのか、そして今後何をしていきたいのか共有し、また学内外に発信する場として、2013年3月11日をとともに過ごす企画を取り組みます。

震災発生から2年が経過しますが、これからも心によりそう支援を続けていくために、「私たちにできること」を一緒に考えていきましょう。

企画の詳細は、大学公式ホームページ、災害復興支援室ウェブサイトにて随時公開していく予定です。

- 「追悼のとき」「教職員が考える震災復興」（衣笠・BKC・朱雀）
各キャンパス会場で、震災復興への新たな誓いと被災地の方への哀悼の意を込めて、献花と14:46には一分間の黙祷を行います。また「教職員が考える震災復興」として、復興支援活動、後方支援スタッフ便を引率した教職員の方から復興支援活動、被災地での学生・生徒とともに取り組んだボランティア活動で感じたこと等を語っていただきます。（各キャンパス2名、5分程度）
- おじゃっこタイム（衣笠）
おじゃっことは東北地方の言葉で「お茶会」のことです。これまで災害復興支援活動を行ってきた教職員が、リラックスした雰囲気の中で、取り組みの報告と共に参加者との情報共有・交換を行います。報告者は「東日本大震災に関する研究推進プログラム」、「東日本大震災復興のための『私たちの提案』」、「災害復興支援活動サポートプログラム」の採択プロジェクトから、取り組みを通して被災地の方々のどのような支援につながったかを語ります。
途中参加、途中退出、席移動自由です。

- 総合防災訓練（BKC・朱雀）
草津市消防局、京都市消防局の協力を得て、教職員・学生（参加者限定）による防災訓練を行います。
- 炊き出し（衣笠・BKC）
立命館大学生生活協同組合のご協力のもと、あったかい芋煮（東北地方の郷土料理）の炊き出しを行います。
- 「研究推進プログラム」「私たちにできること」「サポートプログラム」活動報告パネル展示（衣笠）
これまでにやってきた各復興支援プロジェクトの活動報告をパネル展示で行います。
- 学生交流企画（衣笠）
復興支援活動に取り組んでいる団体・学生からの報告を行い、その後会場全体で交流を行います（報告者は現在検討中）。
運営メンバー募集中
当日運営・学生への参加呼びかけ等で一緒に活動する学生メンバーを募集中です。現在20名のメンバーが活動しています。参加希望の方は災害復興支援室まで。
- ミンナDEカオウヤ（衣笠）
クッキーなどの手作りお菓子や東北地方の物産などを販売します。

3.11 追悼企画「いのちのつどい」タイムスケジュール（キャンパス別）			
衣笠キャンパス		びわこ・くさつキャンパス（BKC）	朱雀キャンパス
		13:00～14:30 総合防災訓練 場所：BKC内	13:00～14:00 総合防災訓練 場所：朱雀キャンパス内
14:00～14:30 導入イベント （学生団体による生演奏）	14:00～20:00	14:30～15:00 追悼のとき （献花・黙祷） 14:46 教職員が考える震災復興 場所：エポック立命21 K310	14:10～15:00 追悼のとき （献花・黙祷） 14:46 教職員が考える震災復興 場所：1階多目的室2
14:30～15:30 追悼のとき （献花・黙祷） 14:46 教職員が考える震災復興 場所：以学館地下食堂			
15:30～18:00 おじゃっこタイム 炊き出し 場所：以学館地下食堂		15:00～16:00 起震車体験 炊き出し 場所：エポック立命21 屋外スペース	
18:00～20:00 学生交流企画 場所：以学館地下食堂	ミンナDEカオウヤ 場所：以学館1階		

大阪キャンパスでの
仮設集会所 ODENSE 模型展示

3/1（金）～16（土）、立命館大学大阪キャンパスを設置する大阪富国生命ビルの地下2階・フコク生命の森において、立命館の復興支援に関する展示企画を実施します。

理工学部宗本准教授と学生たちが、岩手県宮古市に建設した仮設集会所 ODENSE の模型を設置し、あわせてその取り組みについてのパネルを展示します。ODENSE 模型設営の様子は映像学部学生たちが撮影し、映像化します。大阪にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



▲BKCコア1階ロビー展示時のODENSE

写真・企画展
「リメンバー大槌」

3/11（月）～14（木）に、衣笠キャンパス以学館地下の多目的室において、ふるさと大槌会（在京の大槌町出身者の会）の協力を得て、岩手県大槌町の被災した住民の方々が撮影された写真の企画展示を行います。

この企画は、災害の記憶を風化させないため、被災者自らが撮影した震災直後の様子を撮影した写真を展示することで、被災地への関心を高めるとともに、今後予想される大地震への備えについて、認識を新たにしたいと開催するものです。ぜひお立ち寄りください。

これからの主な取り組み

- 3/12（火）～3/18（月）後方支援スタッフ派遣第17便（遠野）・第18便（宮古）
- 3/1（金）～3/16（土）
仮設集会所 ODENSE 建設プロジェクト（立命館大阪キャンパス富国生命ビル）
- 3/11（月）～3/14（木）
写真・企画展「リメンバー大槌」（衣笠キャンパス以学館地下）
- 3/7（木）・8（金）台湾淡江大学との復興支援イベント
復興支援の感謝の意を示し、震災後の状況を伝え、また今後の大学間交流の活性化のために、シンポジウムや学生交流、パネル展示等を行います。
- 3/9（土）13:30～ 公開講座・シネマで学ぶ「人間と社会の現在」シリーズ14
映画『生き抜く 南三陸町 人々の一年』の上映及びゲストを招いて対談が行われます。
<それぞれの取り組みの詳細については、今後HPや瓦版でお伝えします。>

立命館では東日本大震災発生後、被災地域の大学からの支援要請など、緊急的・総合的に判断・対応が必要なものや、学生のボランティア活動、支援に関わる教員の教育・研究活動へのサポートなど、学内外の情報を整理し具体化していく必要性があると判断し、2011年4月21日に、「立命館災害復興支援室」を設置しています



【報告】応用人間科学研究科
東日本・家族応援プロジェクト
団士郎家族漫画展・シンポジウム

立命館大学応用人間科学研究科では、対人援助学という新しい学問領域の創造に取り組み、震災復興支援プロジェクト『東日本・家族応援プロジェクト』として、東日本大震災に対して研究科として何ができるのか、何をなすべきなのかを積極的に問いかけ、考え、これまでも数々の被災地で実践されてきました。その取り組みが、今回朱雀キャンパスにおいて実施。1階ロビーでは1/18（金）～2/17（日）の期間中、団士郎家族漫画展が、また2/10（日）にはシンポジウム『東日本大震災と対人援助学』も開催されました。



▲朱雀ロビー展示の様子

この取り組みに関する詳細は応用人間科学科のHPでご覧いただけます。
<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/gr/gsshs/sinsaiproject.html>

【報告】中田行彦 AP-IMAC センター長
震災復興シンポジウム基調講演

2/6（水）、東北大学片平キャンパス 片平さくらホールにて、「再生可能エネルギーの産業化と東北復興 - 太陽光先進地域から何を学べるのか -」（主催：東北大学大学院経済学研究科）と題したシンポジウムが開催され、APUの中田 行彦アジア太平洋イノベーション・マネジメント・センター（AP-IMAC）長兼国際経営学部教授の基調講演が行われました。この取り組みは、APUと東北大学が共同で、東北地方の再生可能エネルギー産業の可能性について調査し、新たな産業の創出に繋げようとする『再生可能エネルギー産業化支援プロジェクト』によるものです。

講演の中で中田センター長は、太陽光発電の現状と課題、産業の特徴を述べたのち、九州を中心とした先進事例を紹介し、太陽光産業に新規参入する道筋をお話しされました。また、続いて行われたパネルディスカッションにもパネリストとして参加し、再生可能エネルギーを活用した復興事業の可能性について意見を述べられました。

シンポジウムは約140名が参加し、盛況でした。当日の様子はAPUのHPのNewsでも紹介されています。詳しくはこちら！
<http://www.apu.ac.jp/home/news/index.php?page=article&storyid=2463>



▲シンポジウム基調講演の様子

編集後記

今年の3月11日で東日本大震災から丸2年を迎えます。そして3年目を迎えるにあたり、瓦版でご紹介しましたとおり、「3.11 追悼企画 いのちのつどい」として様々な企画を実施予定です。これまでの取り組みを振り返るとともに、これから被災地の方々の心によりそう支援を続けていけるよう、「私たちにできること」を一緒に考えてみませんか？皆さまのご参加をお待ちしています。

立命館大学災害復興支援室瓦版【第15号】
発行人・編集 立命館災害復興支援室
075-813-8130（総合企画課内）
メール 311fukko@st.ritsumei.ac.jp
HP <http://www.ritsumei.ac.jp/rs/20110311/>

